

第4回みんなで取り組む武庫川づくり交流会

武庫川河川敷お掃除会と特定外来生物オオキンケイギクの駆除

武庫川流域圏ネットワーク 山本義和

2015年10月17日

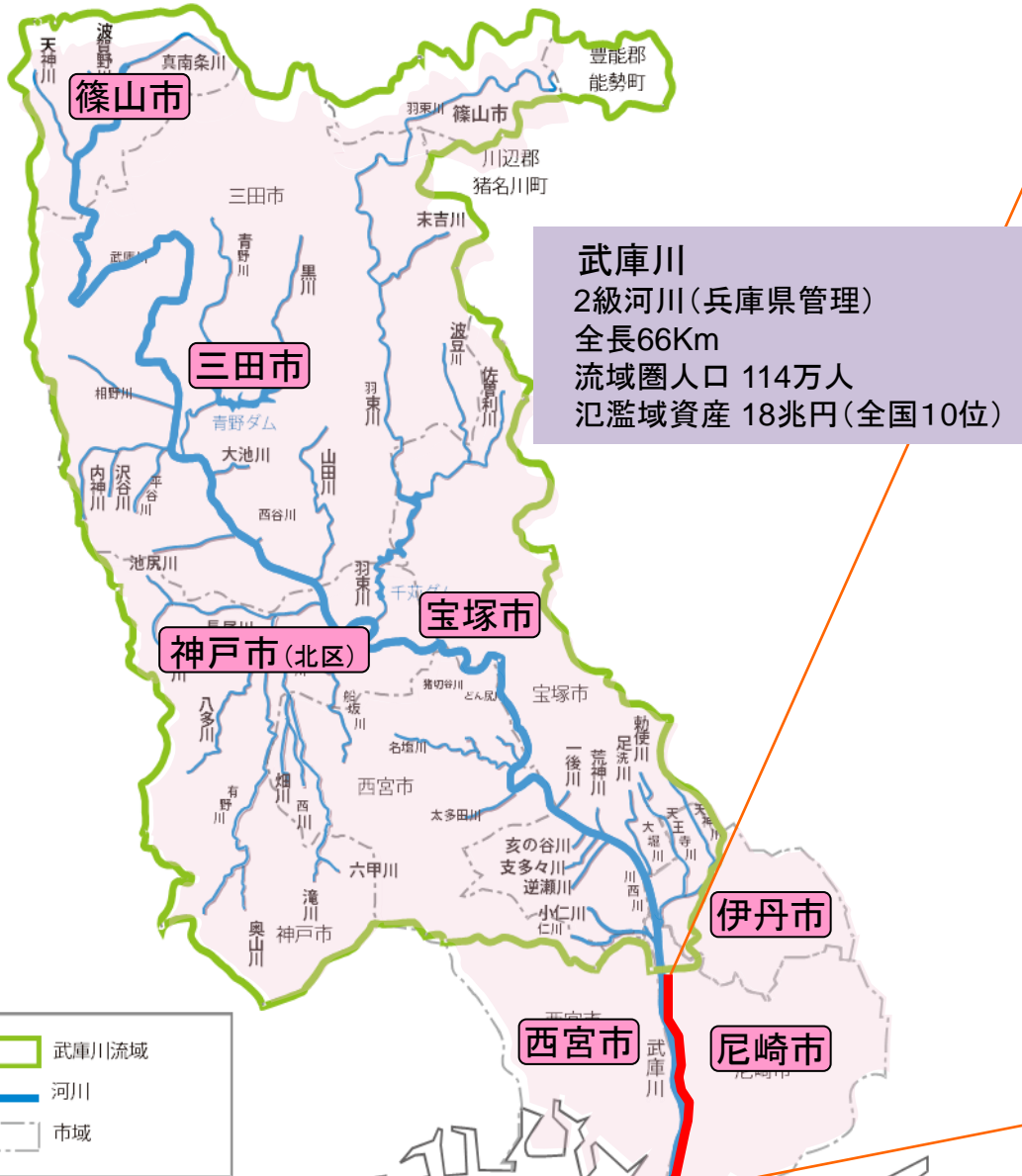


武庫川河川敷お掃除会(仁川との合流点)



仁川河川敷のオオキンケイギク

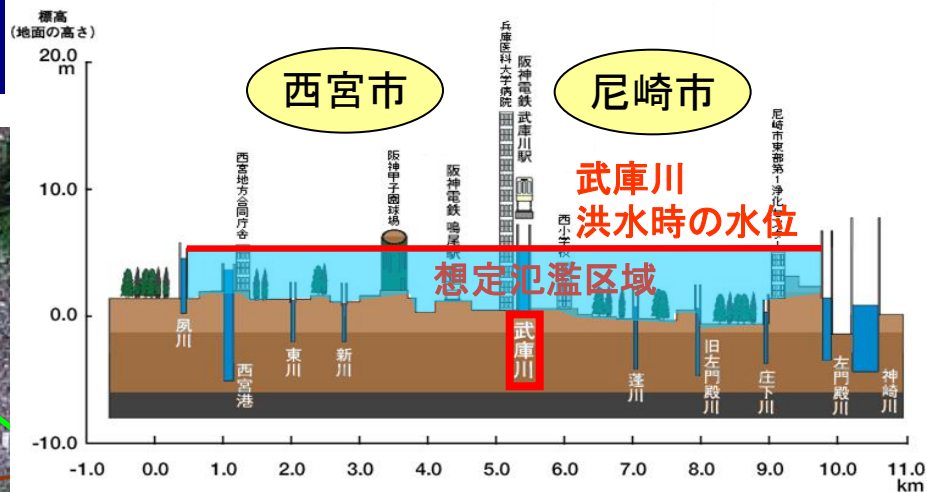
武庫川の流域図



築堤区間 (仁川合流点から下流)



武庫川下流部の想定氾濫区域



氾濫区域内の人口：約110万人
被害を受ける資産：約18兆円

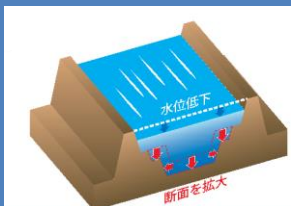
堤防が破堤すれば、大きな被害となってしまいます。

武庫川で取り組む総合的な治水対策

総合的な治水対策

河川対策

河道掘削

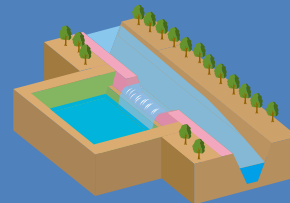


堤防強化



洪水調節施設

遊水地整備

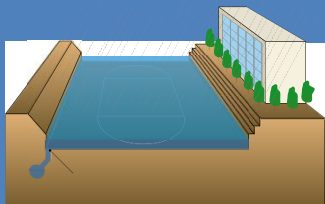


青野ダム活用



流域対策

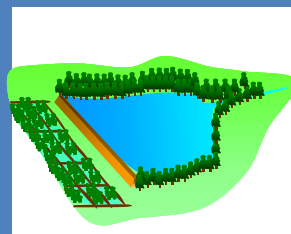
校庭貯留



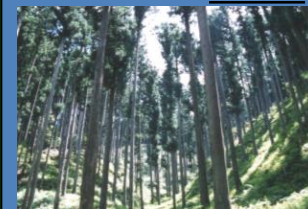
公園貯留



ため池貯留



森林整備・保全 ほか



減災対策

知る



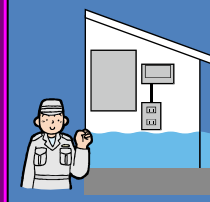
守る



逃げる



備える



魅力ある武庫川づくりへ手をつなごう 武庫川流域圏ネットワーク

武庫川の源流は篠山市に位置し、全長約 66km。ダムの新設に頼らない総合治水(河川、流域、減災)を目指し、2012年の秋から河川対策工事が始まった。環境への配慮と、住民の参画と協働が重要。

■設立総会と記念講演会(宝塚ソリオホール 2011. 7. 9)■



■設立目的■

武庫川流域圏に関する各種情報の共有と発信を行い、安全・安心で魅力的な武庫川づくり、まちづくりを目指す。

■主な主催行事■

- ①活動報告会 ②武庫川河川敷清掃 ③その他

■お掃除をしながら、自然や文化を学びます■



第8回武庫川河川敷お掃除会
2014年6月
甲武橋
参加 130名



■2014年8月豪雨■

武田尾で16日に時間雨量90mmを記録。高さ5mの護岸堤防が約70%にわたって崩落。(資料:兵庫県)



■武庫川渓谷■
JR福知山線廃線跡地
多くの市民が楽しめる
ハイキング道としての
整備を期待

武庫川ネットでは
オオキンケイギク
の防除活動を実施

mail: mukogawaken.net@gmail.com

HP: http://muko.jimdo.com

■朝日新聞 2011. 6. 30■



■第4回活動報告会■
(2014年12月神戸女学院大学)



ポスター展示
参加 14団体



■仁川の特定外来植物オオキンケイギク■



団体会員: 12 団体、個人会員: 100 名(2015 年 10 月現在)

- ・武庫川づくりと流域連携を進める会
- ・武庫川円卓会議
- ・武庫川の治水を考える連絡協議会
- ・神戸女学院大学 環境・バイオサイエンス学科

- ・21世紀の武庫川を考える会
- ・エコグループ・武庫川
- ・三田エコツーリズム
- ・はんしん自立の家

- ・さんだ景観くらぶ
- ・人と自然の会
- ・西宮公同幼稚園
- ・津門川の自然を守る会

武庫川流域圏ネットワーク

(2011年6月発足)

設立目的:

安全・安心で、より魅力ある武庫川を求める市民活動

会員(2015年10月現在)

団体会員12、個人会員100名

活動内容:

- ・武庫川に関する各種情報の発信
- ・武庫川河川敷お掃除会
- ・特定外来種オオキンケイギクの駆除
- ・講演会等の企画
- ・武庫川流域圏ネットワーク活動報告会
- ・兵庫県企画の事業に参加
- ・武庫川市民学会の後援
- ・市民カレッジ等での講師担当
- ・エコバスツアーの企画

第5回武庫川水系河川整備計画フォローアップ懇話会 (武庫川総合治水室主催 2015年9月8日) 武庫川流域圏ネットワークから傍聴者10名が参加し、意見や要望を述べる



武庫川河川敷清掃

武庫川流域圏ネットワークが広く市民参加を呼びかけて年に3回(3月、6月、11月)実施している。ゴミの回収だけでなく、武庫川の自然を学ぶテーマを取り入れている。

回収したゴミ



ゴミの計量



武庫川河川敷清掃の集合写真(170名参加)



2013/06/09

武庫川河川敷き清掃コース (甲武橋と武庫川新橋の間) コースは定まっていない

自然探索(希少生物、外来種)
水害の被害、治水工事、魚道の説明
河川水の水質調査

後援: 阪神南県民センター、西宮市、
宝塚市、尼崎市、伊丹市、
武庫川市民学会

ゴミの回収: 普通ゴミは流域市
大型ゴミは兵庫県
最近は企業も協力



河川敷き清掃での写真

武庫川のバイク



洪水でえぐられた河川敷き



武庫川で見かける動植物

野鳥、昆虫、魚もいます！

ヌートリア



希少植物 カワラサイコ



ミズヒマワリ



オオキンケイギク



甲武中学校3年生に環境学習の授業

(2013年11月5日)

武庫川河川敷清掃活動
のつながりで、甲武中学
3年生に「武庫川流域圏
ネットワークの活動紹介
をすることになった。
「縁は異なるもの」である。



武庫川河川敷清掃から副次的に得られるもの

武庫川を多くの人と一緒に歩くことによって得られるもの

- ①川の自然や生物を知る(川を楽しむ)
- ②川の構造や水の流れを知る
- ③川は優しくもあり、怖いもの
- ④自然への畏敬の念を抱く
- ⑤川から得られる恵み(物質的、精神的)を知る
- ⑥治水や利水の方法を知る

- ⑦人と人とのつながりが生まれる
- ⑧「綺麗になった」と達成感
- ⑨「ボランティア活動をした」との充実感
- ⑩ その他、いろいろ



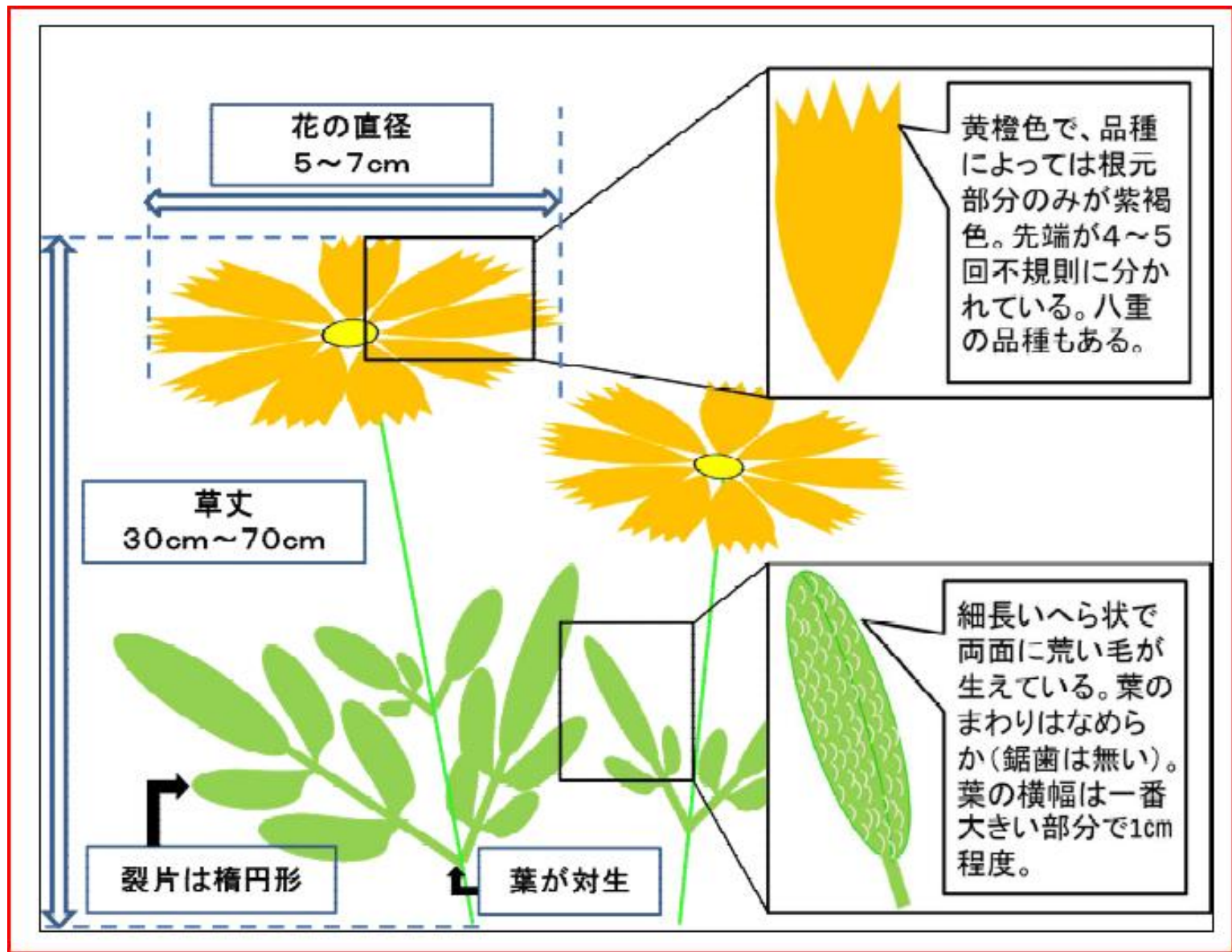
市民参加で、仁川河川敷でのオオキンケイギクの 駆除活動

オオキンケイギクはきれいな花で、市民に親しまれている
(仁川駅近くで2015年5月撮影)



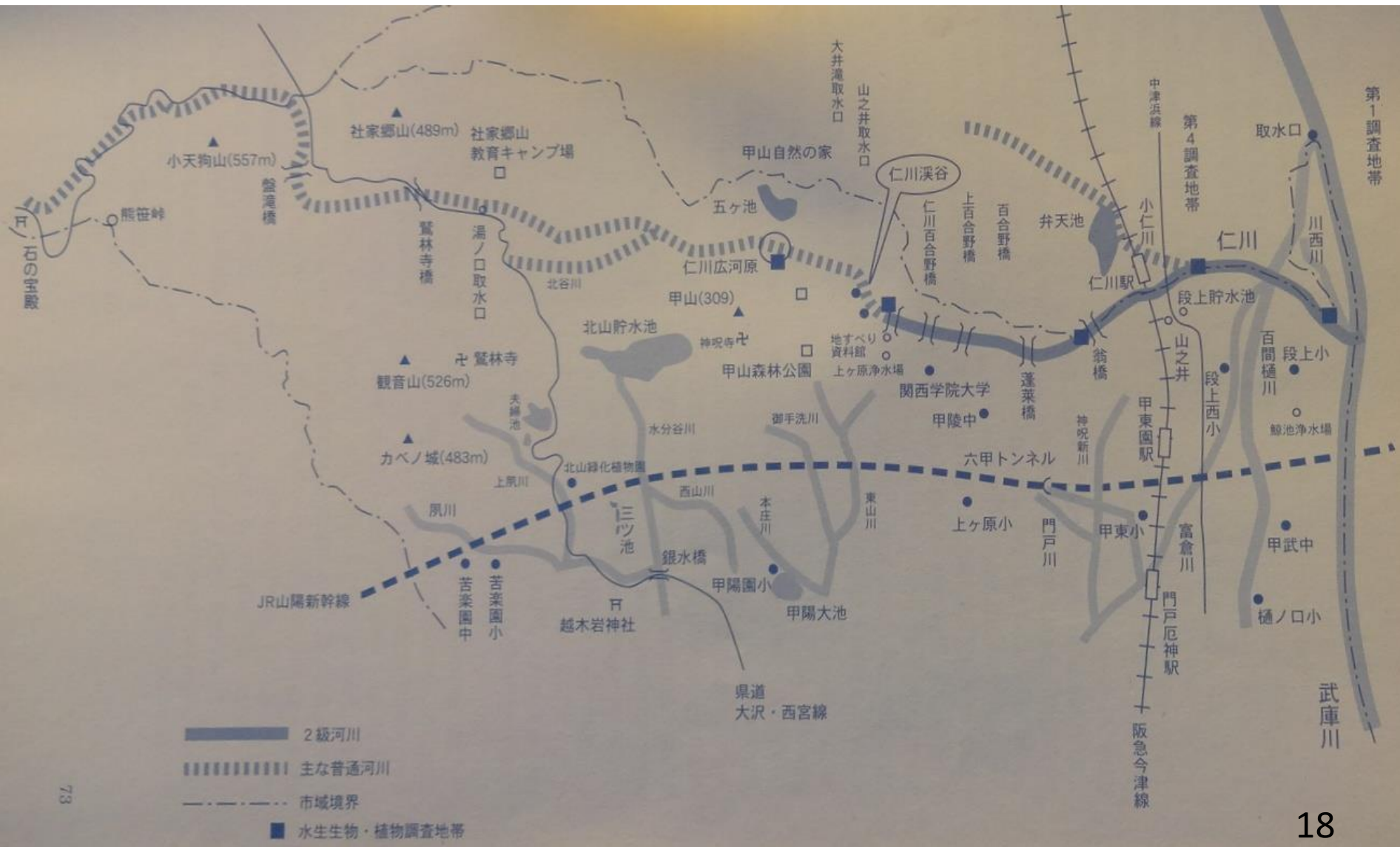
オオキンケイギク (*Coreopsis lanceolata*) とは

- ・北アメリカ原産のキク科の多年草。
- ・5～7月にコスモスに似た黄色い花を咲かせる。
- ・高さは30～70cmで、葉の両面には荒い毛がある。
- ・道路工事の法面強化や緑化に使用されてきた。
- ・観賞用として苗が販売されていた。
- ・いったん定着すると在来の野草の生育場所を奪う。
- ・2006年に特定外来生物に指定。
- ・生きたままの運搬・栽培・譲渡などが禁止。
- ・違反すると厳しい罰則（懲役3ヶ月、罰金300万円）。



オオキンケイギクの花や葉の特徴（環境省の資料より）

- 仁川は六甲山東部を源流とし、武庫川に合流する全長9.3Kmの河川
- 武庫川合流点から上流約4Kmの区間で、オオキンケイギクが繁殖。



黄色い侵略者 拡散中

西宮市の武庫川河川敷で1日、地元の中学生や企業の有志ら約130人が近年、急速に繁殖している特定外来生物「オオキンケイギク」を観察した。7月にかけて黄色い花を咲かせるが、在来植物の生育場所を奪い、周辺環境を一変させてしまうため、栽培や移動が禁止されているためだ。

環境保護などに取り組み市民ら連携組織「武庫川流域圏ネットワーク」

オオキンケイギク

ワークが呼びかけた。参加者は厄崎、西宮両市の下流域でゴミ拾いをして川との合流点で観察した。オオキンケイギクは北米原産。桐書に映く、かつては道路や堤防の強化や緑化に使われ、全国的に野生化した。在来の生態系を脅かすため、2008年に特定外来生

物に指定されている。

同ネットワークによると、武庫川流域では家庭で栽培された種子が飛ぶなどして広がり、昔よく見られていたカワラサイコなどを追いつけている。上田宏・副代表(元)は「いま開花期を迎えているが、仁川合流点では昨年の倍以上咲いている。放つておくと来年はさらに倍増するだろう。早く対策を取る必要がある」と話していた。

(中村尚徳)

中学生ら130人 武庫川で観察会



オオキンケイギク(手前)の説明を聞く中学生ら—西宮市

(朝日新聞 2014年6月2日朝刊から、転載)

仁川の下流部(武庫川合流点近く)でオオキンケイギク観察会
(2014年6月1日)

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律の規制に係る運用（植物の運搬及び保管）について

平成 27 年 1 月 9 日 環自野発第 1 5 0 1 0 9 1 号

各地方環境事務所長、釧路自然環境事務所長、長野自然環境事務所長、
那覇自然環境事務所長、高松事務所長宛 自然環境局野生生物課長通知

以下の3条件を満たす場合には外来生物法による「運搬」には該当しない
(2015年1月9日 環境省)

1. 特定外来生物である植物を処分することを目的としたゴミ焼却施設等への運搬
2. 落下や種子の飛散防止等の逸出防止措置が運搬中にとられること
3. 特定外来生物の防除、実施主体、実施や実施場所、などを公表して実施

オオキンケイギクの駆除方法

1. 根からの抜き取り
2. 地上部の刈り取り
3. 種子の拡散を防ぐ
4. 表土のはぎ取り
5. 除草剤
6. その他

仁川の河川敷きで、オオキンケイギクの小株の抜き取り作業 (2015年3月8日、下流部で実施 130名の参加者)



武庫川から仁川口橋に移動、河川敷や石垣で根からオオキンケイギク駆除、密封処理、3,100株



翌日、西宮市の協力により回収、焼却



仁川河川敷のオオキンケイギク駆除 - 阪急電車仁川駅周辺 -

2015年6月14日(日) 9時30分～12時



特定外来植物オオキンケイギク駆除の第2回目で、種子の拡散防止のために花や蕾を切り取り、兩岸(宝塚市・西宮市各約500m)で、合計197kgを集めました。密封し、宝塚市・西宮市に、運搬・焼却を依頼しました。対象地域の黄色い眺めは、みどりになりました。花は盛りを過ぎ、種子の回収は注意したものの、花よりはるかに難しく、今後の課題です。

集合：阪急仁川駅の南西 100名

『きれいな花を、何故摘み取るのですか?』というテーマで、事前に地域住民の方々と何回か会話させていただきました。また当日、道行く人々が足を止めてスタッフと会話して下さいました。200kgの蕾・花・種子にもまして、そのような会話と、家族連れや中学生が多数参加くださったことが、今回の宝ものだと考えています。

2015年6月14日 第11回お掃除会の会場にて



オオキンケイギクの駆除 (ハサミで花、蕾、種子を切り取り回収)



摘みとったオオキンケイギク(約200kg)

左岸



右岸



仁川のオオキンケイギクの駆除(9月27日)

駆除作業の手順 (作業区域は下の地図に点線で示した河川敷きの兩岸)

根から引き抜き、焼却処分 ※「宝塚市」「西宮市」「KKヤマサ環境」の協力に感謝!

- ① 受付でこの資料、軍手、土嚢袋、スコップなどを受け取る。
- ② オオキンケイギクの実物を、朝礼で確認(作業区域の約20地点でも紐で目印)。
- ③ 基本は、二人でのチーム作業(参加者数等によって判断)。
- ④ オオキンケイギクの根は強靱。スコップで掘り起こしてから抜き取る。
- ⑤ 土嚢袋に根、茎、葉を約3/4まで詰めて、ゆるく縛り、兩岸の所定場所に運搬(11時作業終了)。
- ⑥ 右岸と左岸で土嚢袋の総数を求める。土嚢袋3～5個を選んで、個々の重量と株数を記録。
- ⑦ 11時20分 結果報告、参加者の感想、連絡事項など。
- ⑧ 11時45分 終礼。
- ⑨ 12時解散。



仁川の特定外来植物オオキンケイギクの駆除(武庫川流域圏ネットワーク主催)

五 阪神 13版△ 2015年(平成27年)9月28日 月曜日 享月 日 業庁

特定外来植物 市民が駆除

宝塚市と西宮市の市境を流れる武庫川支流の仁川河川敷で27日、約50人の市民が特定外来植物のオオキンケイギクを駆除した。根こそぎ引き抜いた約1500株を、種が飛び散らないように土嚢(どのお)袋に入れた。近く焼却処分するという。

環境省は今年1月、特定外来植物の駆除に市民が取り組みやすくするため、種子の飛散防止策を取るなどすれば、ごみ焼却施設への運搬を認める規制緩和を通知した。

これを受け、武庫川水系の環境保護などに取り組む市民の連携組織「武庫川流域圏ネットワーク」は3



月から、繁殖が特に目立つ仁川で駆除に乗り出した。

この日、駆除に取り組んだ阪急仁川駅そばの両岸約500mでは、6月にも花やつぼみなど計約200株を摘み取った。しかし、その後も株の脇から芽が生え、山本義和代表(70)は「繁殖力が強い。ここだけでも数千株ほどはあるのではないか」という。

仁川では近年特に繁殖が目立ち、持ち帰って自宅の庭に植える人もいるという。山本さんは「特定外来植物がはびこっては、既存の植物は生きられない。多くの人に関心をもってほしい」と話した。(中村尚徳)

仁川河川敷、国の規制緩和受け

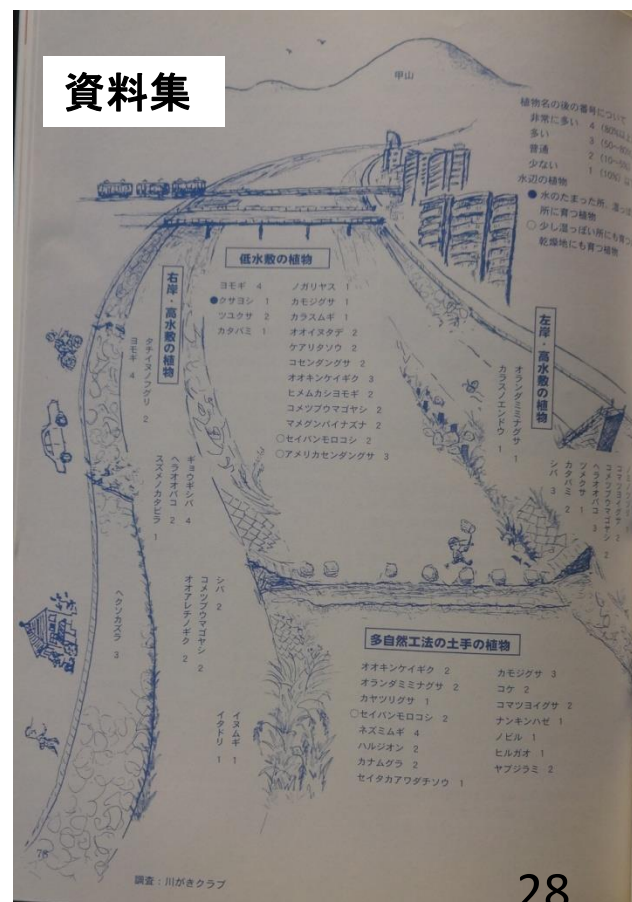
仁川のオオキンケイギクは、いつごろから繁殖を始めたのだろうか？ 発生源は？

- ① 「阪神・淡路大震災(1995年)以前には、仁川駅付近ではオオキンケイギクを見かけていない」(川沿いの住民の声)。
- ② 2003年6月に「川がきクラブ」が行った阪急仁川駅から下流の植生調査。多い植物としてオオキンケイギクの記載がみられる。(西宮の川を学ぶ～指導者用資料集 p. 73～83より)。
- ③ 現在、仁川駅の1.5Km上流の地すべり資料館よりも上流の仁川渓谷や広河原などでは、オオキンケイギクを確認できない。
- ④ 震災後に出来た地滑り資料館近くの大きな花壇の一角に「オオキンケイギク」が群生していた(2014年に処分された)。今も、その下の仁川ではオオキンケイギクが多い。

オオキンケイギクは特定外来生物に指定(2006年)されるまでは園芸用品種としても栽培されていたので、仁川河川敷の発生源の特定は難しい。

土壌中の種子が洪水や風などによって下流まで拡散して河川敷や堤防の法面で繁殖を続けていると推察。

発生源を絶つことが大切です！



オオキンケイギクの汚染源（一部分）

仁川の上流部（堤防の法面）



花壇や庭など民有施設



オオキンケイギク駆除のために

- 根から引き抜き、適切な方法で処分場まで運搬
- 種子の拡散を防ぐ
- 焼却処分
- 市民と行政が協働して取り組む
- 完全な駆除は困難。やれるところから始めて、活動の輪を広げる
- 一般市民への啓発活動が重要
- 他の特定外来生物にも目を向ける

「第12回 武庫川河川敷 お掃除会」

仁川合流点

主催：武庫川流域圏ネットワーク <http://muko.jimdo.com/>

協力：兵庫県 西宮土木事務所/西宮市/宝塚市（行事保険・ごみ袋提供・ごみ回収その他）

仁川合流点は生き物が豊かな水辺ですが、洪水によって自然環境が変化を受けやすく、ゴミも漂着しやすい場所です。今回は貴重な親水域を重点清掃します。

2015年3月に特定外来生物オオキンケイギクを根から駆除した、合流点に近い仁川河川敷でのオオキンケイギクを見学の予定です。

● 日時：2015年11月8日（日）

9:30～12:00

降水確率：午前中 50%以上は中止

雨天予備日：11月15日（日）

● 集合：仁川合流点の歩道橋
横の河川敷



次回は11月8日、参加してね！

ご清聴有難うございました



武庫川流域圏ネットの今後に向けて

1. 次代を担う若い人達や他団体と連携し、次世代に続く市民活動を継続していく。
2. 会員内部や他団体との意見の相違はあるものとして認め、協力して「より安全で魅力ある武庫川づくり」に取り組む。
3. 武庫川流域圏ネットワークは、市民主体の組織である。河川管理者の兵庫県や流域自治体と適度な距離を保ちつつ、協働して活動する。
4. 武庫川の総合治水はほぼ順調に進んでおり、ダム建設反対の共通目標が消えつつある。
新たな活動目標が必要ではないだろうか？
(自然環境の保全が、キーワードの一つか？)